

2024年1月29日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 第4種踏切における「踏切ゲート-Lite」を岡山県内に初めて導入します

JR西日本中国統括本部では、警報機および遮断機のない第4種踏切の安全対策として、2021年度より「踏切ゲート」の設置を進めてきました。2022年度、更なる安全性向上を図るため「踏切ゲート-Lite」を開発しました。今回初めて岡山県内の踏切に導入します。

### 1. 「踏切ゲート-Lite」のねらい

歩行者等が通行する第4種踏切において、通行者に一旦停止・左右確認を促し、直前横断による踏切障害事故を防ぐことができます。さらには、材料を軽量化し、施工時間を短縮させることで、施策の迅速化を図ることができます。

※歩行者等：歩行者および自転車、二輪車

### 2. 「踏切ゲート-Lite」の主な特徴

〈常時遮断式〉 通行者の踏切横断時のみ開閉

〈半自動式〉 遮断桿の操作後は自動的に元位置に戻る

〈通行方法〉 踏切進入時には上に持ち上げて通行

踏切退出時には前に押して通行

または上に持ち上げて通行

〈設置位置〉 踏切一旦停止線付近に設置



【踏切ゲート】



【踏切ゲート Lite】

### 3. 導入箇所(岡山県内)

2月中旬 宇野みなと線(宇野線) 備前田井駅構内 庄之上踏切(岡山県玉野市田井4丁目付近)  
その他、今年度中に伯備線3箇所、姫新線2箇所、桃太郎線(吉備線)1箇所 計7箇所導入予定

### 4. 今後の導入計画(岡山県内)

2024年度約20箇所に「踏切ゲート-Lite」を整備していく予定。

### 5. その他

- (1)「第4種踏切」とは、警報機および遮断機のない踏切で、踏切警標または踏切注意柵のある踏切
- (2)「踏切ゲート」とは、第4種踏切を通行者が通行する際に「一旦停止」を促す補助装置

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に8番、9番、11番、に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

